

2013年閣僚理事会閣僚声明（仮訳）  
「人々がすべて一雇用、格差及び信頼」

2013年5月30日

1. 2013年のOECD閣僚理事会に際し、我々<sup>1</sup>は議長国ノルウェー並びに副議長国オーストラリア及びエストニアの下に集まった。

2. 我々は、生涯の中で最も厳しい5年以上の長きにわたる経済危機の中にあり、経済の回復は多くの課題に直面し続けており、社会的な影響は深刻である。我々の共通の目標は、構造改革の必要性を認識するとともに、各国における社会的側面、特に失業を減らし、格差に取り組み、信頼を再構築することの緊急性を考慮に入れながら、引き続き、持続可能であまねく広がる成長を達成することである。我々はOECDの支援を得て、経済を、力強く、持続可能で、均衡のとれた回復軌道に乗せるために共に行動する。我々は、「経済的課題に対する新たなアプローチ（NAEC）」の展開において初期の取組が行われたことを歓迎し、2014年の次回閣僚理事会において、目的に沿った政策提言を含む、実質的な進展が報告されることを期待している。我々は2013年以降のOECDの戦略的方向性を含む、新たなイニシアティブを提案する事務総長の役割を歓迎する。

3. 多くの国において、失業は最も重大な課題である。我々は、社会的対話と経済危機に対応するための社会政策の強化の重要性を強調する。経済危機がとりわけ若者を深刻に直撃したため、我々は、本日、「若者のためのOECD行動計画」を推進することにコミットする。人々の就業を支援する上で、中小企業を含む労働市場の活性化のための戦略が必要である。さらに、人々が適切な技能を身につけることは雇用の可能性を高める上で重要であり、我々は本年10月に発表されるスキル・アウトルックと成人の技能に関する初めてのOECD分析（PIAAC調査）に期待する。我々はまた、移民を含む全ての人々が労働市場により広く参加していることが必要であることを認識する。

4. 我々は、社会の格差に取り組む重要性をその経済成長への影響も含め認識する。この鍵となるものは、機会の平等と適切な社会保障を提供する制度である。我々は、「教育、雇用、起業におけるジェンダー平等に関するOECD理事会勧告」を採択し、ジェンダー平等に向けて進展することにコミットする。さらに我々は、NAECイニシアティブの下、OECDが格差に関する取組を強化することを奨励する。

5. 我々は、政府、市場、制度に対する信頼を再構築するという我々のコミットメントを再確認し、金融規制を強化し、腐敗に立ち向かい、開かれた政府を促進し、政策決定における透明性を確保していく。この観点から、OECDの前向きな課題設定を

---

<sup>1</sup> オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チリ、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、ルクセンブルク、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、（ロシア）、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、英国、米国、EU

歓迎する。

6. 我々は、各国において質の高い雇用を更に維持・創出すべく、成長の新しい革新的な源泉、とりわけ、知的資産、グリーン成長の分野におけるOECDの分析及び助言を歓迎する。

7. 我々は、効果的、効率的、公平かつ透明な税制の重要性を強調する。我々は、税源浸食に対抗し、また、二重の非課税のリスクを避けることにコミットする。我々は、アルゼンチン、ブラジル、インドネシア、ロシア及び南アフリカと共に「税源浸食と利益移転」に関するOECDの重要な取組に賛同する宣言を採択した。我々は、全ての国及び地域に対して、税務行政執行共助条約に加入することを奨励する。我々は、税金に係る不正や課税逃れに効果的に対抗するため、全ての国及び地域に対し、自動的な情報交換を進め、実質的な所有者についての情報の入手可能性、質、正確性を向上させるよう要請する。

8. 我々は、市場を拡大し、あらゆる形態の保護主義に対抗しつつ、ルールに基づいた開かれた貿易・投資システムにコミットしていることを再確認する。これは、持続可能でグローバルな経済回復、雇用及び開発に必要なことである。我々は、世界貿易機関(WTO)ドーハ・ラウンド交渉の妥結に向けたモメンタムを創り出すため、本年後半の第9回WTO閣僚会合において意味のある実質的な成果を達成しようというコミットメントを強調する。我々は、バリでのパッケージが貿易円滑化に関する合意、及び農業と、後発開発途上国(LDC)の関心事項を含む開発の諸要素に関する合意を含むべきであるという目標を共有する。我々は、この交渉がいまだに成功を確信させる見通しをつけていないことに留意し、全てのWTO加盟国が柔軟かつ現実的にこの目標の達成に向けて取り組むよう要請する。

9. 我々は、グローバル・バリュー・チェーン(GVC)や付加価値貿易の計測に関するOECDの取組を歓迎する。GVCは成長と生産性の強力な推進力であり、雇用の創出を支えるものである。我々は、貿易円滑化措置により、先進国及び途上国の双方がGVCをより良く活用できることに留意する。サービスは、GVCが効率的に作用するための鍵であり、サービス貿易の自由化が一層重要である。我々は、OECDのサービス貿易制限に関する取組の成果が2014年の閣僚理事会に報告されることを期待している。我々は、GVCと雇用・所得との関係や全ての国がGVCに参加できるようにするための方法について更に分析を進めることをOECDに求める。

10. 我々は、「開発戦略」の承認以降、OECDの取組において開発という視点を強化し主流化する上で、進展があったことを歓迎する。我々は、グローバルな課題である開発のための一貫性の重要性を認識しつつ、OECDが、多くの専門分野にわたる取組を通じ、より広範な政策が世界における公平で持続可能な経済発展に貢献することを確保しようと取り組んでいることを歓迎する。我々は、開発戦略の下の重要な分野である不法な資金の流れや食料安全保障について今後一年間に分析が行われること、及び、2014年閣僚理事会に開発戦略の実施に関する実質的な報告が提出されることを期待する。

11. 我々は、キー・パートナー（ブラジル、中国、インド、インドネシア及び南ア）との関係を引き続き深化させる。また、インドネシアとの枠組み合意を歓迎する。我々は、新たに東南アジア地域プログラムを立ち上げ、事務総長に次回の閣僚理事会で進捗の報告を行うことを求める。我々は、G8及びG20の文脈を含む、グローバル及び地域レベルでOECDが果たしている役割を歓迎する。

12. 我々は、加盟のためのロードマップに定められた条件及び行程に沿って、ロシア連邦が加盟手続を完了することを望んでいることを繰り返し述べる。

13. 我々は、多くの国からOECDへの加盟に関心表明があったことを歓迎する。これは、OECDの取組が引き続き妥当性とインパクトを有していること、そしてグローバルで柔軟な政策ネットワークとしてのOECDの重要性を示している。我々は、「OECDのグローバル関係強化に関する理事会決議」に書かれている、コロンビア及びラトビアの加盟手続を開始するという重要な決定を歓迎する。我々は、2015年にコスタリカ及びリトアニアの加盟手続を開始するという決定を行うことを念頭に、今後状況をレビューし、それまでの間、将来の加盟プロセスに向けた準備のため両国と協力していく。我々は、事務総長に対し、加盟申請が理事会で審査されたその他の国に対して、加盟申請を個別に更に検討していくと伝えるよう要請する。

14. 我々は、「OECDのグローバル関係強化に関する理事会決議」にあるとおり、OECDが、よりグローバルで多様なメンバーシップを得て拡大することに伴う課題に対応するため、組織のガバナンスのレビューを実施することを理事会に要請する。

15. 加盟国の厳しい予算状況に鑑み、我々は、加盟国に対して支出に見合う価値を提供し、効率性を実現しつつ、インパクトを最大化する事務総長のコミットメント及びオープンで無料かつアクセス可能なデータへのコミットメントを特に歓迎する。

（了）